

輸送費各社負担についてのQ & A

Q1.石川組へ船便、航空便、梱包を依頼した場合の支払いはどうなるのか？

回答:往路、復路ともに船便、航空便、梱包費用すべて各出展者様の負担となります。
現地での開梱、設置、再梱包に必要なフォークリフト等重機使用料、作業員費用、開梱、ブースでの再梱包費用、石川組スタッフ派遣費につきましては各社様の出品料に含まれております。

Q2.今までの輸送方法と何か変わることがあるのか？

回答:前回までは出展者様の荷物をまとめて、コンテナ単位で船便輸送をしておりましたが、今後はLCL貨物(混載貨物)を前提として出展者様毎に輸送を行います
LCL貨物輸送は、コンテナ単位の輸送に比べて、貨物のダメージ発生率が非常に高くなりますので、カートン(ダンボール)での輸送はお断りすることがございます。
パレット、ケース等で梱包して頂きカートン(ダンボール)での出荷は避けて頂けますようお願いいたします。※航空便につきましては変更はございません。

Q3.石川組のサービスを利用せず、展示貨物の輸送を行った場合、何か支障はあるのか？(A~Cコースに当てはまらない方)

回答:石川組のサービスを利用しない場合、他の輸送会社様に業務を委託される事になりますが、すべてのトラブルにつきまして(貨物の遅延、破損、通関上のトラブル等)、各出展者様及び委託された輸送会社様の責任で輸送を行っていただきます。
現地に石川組スタッフが派遣されている場合でも、石川組がトラブル解決にご協力する事は出来ません。
※石川組が会場作業のみを行うことはございません。
石川組が現地の作業を行わない為、開梱、設置、再梱包時に出展者様の立会が必要となります。

Q4.通常利用している輸送業者(石川組以外のフォワダー)のサービスを利用したいが、現地での通関及び作業が不安。何か良い方法はないのか？

回答:通常ご利用いただいている輸送業者様に現地指定港止めにて、業務を依頼頂き、現地港到着後の通関から石川組が業務を受けることも可能です。(Bコース)※現地費用見積もり、輸出時に必要な『CONSIGNEE』、『NOTIFY』現地港への到着期限等は石川組へお問い合わせください
その場合の現地でのフォークリフト等重機使用料、作業員費用、開梱、ブースへの再梱包費用、石川組スタッフ派遣費につきましてはJSMEA様が負担いたします。
日本での再輸入通関につきましては、必ず輸出した輸送業者様へご依頼ください。※石川組での再輸入通関は不可能となります。

Q5.石川組のサービスを利用せずに輸送を行ったが、会場での開梱、再梱包が出来ない場合は石川組に頼めないのか？

回答:現地での急なオーダーにはお答えすることができない場合もございます。
輸送は自社で行われ、会場内作業を石川組に依頼される場合(Cコース)は必ず事前に貨物内容(サイズ,重量,写真等)をご教示ください。
開梱、設置、再梱包には必ず出展者様に立会って頂き、作業終了後、石川組の書面にサイン(石川組の作業に問題が無く、輸送中に破損事故等があった場合でも石川組の責任では無い等の内容)を頂く事になります。
(貨物のサイズ、小間の位置によっては小間施工中に搬入作業を行う必要がございますので弊社SV立会いの下事前に開梱、搬入作業させて頂く場合もございます
状況に応じて再梱包作業が撤去翌日以降となる場合もございますので、ご了承下さい。※その場合も必ず出展者様の立会が必要となります。

Q6.展示会場ブースまでは、石川組のサービスを利用せずに輸送するが、展示会終了後の返送手続を石川組に依頼できるのか。

回答:弊社で現地輸入を行っていない貨物の返送依頼は、お受けすることができません。